

国際研修の受入れ研修員数が10,000名を突破
～KITA研修 40年の足跡を辿って～

1980.7 KITA設立

1980.8 国際研修第1号「鉄鋼材料及びその試験・検査」開講

研修員はアルゼンチン、バングラディッシュ、エジプト、マレーシア、メキシコ、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、タイ、ベネズエラの10カ国、10名が参加



1980年8月 国際研修第1号研修員の皆さん

1985 受入れ研修員が100名を突破

1987 生産性向上技術や設備保全・診断技術をテーマとした多数のコース開講



1985年 プラントメンテナンス技術コースの研修風景 (新幹線 博多整備工場にて)



1989年 プラントメンテナンス技術コースの研修風景

1990 北九州市の友好都市、中国/大連市の工場責任者等を対象とした環境分野の研修受入れ ※中国からの研修員受入れ本格化

1991 南アのアパルトヘイト終焉により、黒人指導者向けの「南アフリカ教育・職業訓練計画」コースを実施(3名の研修員受入れ)

1992 環境保全と省エネルギーに関する多数のコース開講

1989 JICA九州国際センター開所

1991 「外務大臣表彰」受賞

1993 受入れ研修員が1,000名を突破

1993 東西冷戦終結に伴い、東欧・中東支援の研修開始

1994 韓国中小企業の人材育成のための研修開始

※韓国からの研修員受入れ本格化

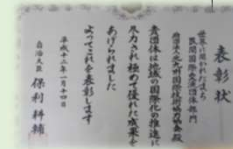
1995 「日韓国際環境賞」受賞

1997 受入れ研修員が2,000名を突破

2000 「自治大臣表彰」受賞

2001 受入れ研修員が3,000名を突破

2006 食品安全に関する新コース開講



2007 「循環型社会の構築」コース開講
「中小企業・地場産業活性化」コース開講



2006年 食品保健行政コースの研修風景

2008 受入れ研修員が5,000名を突破

2010 労働者の安全と健康に関する新コース開講

2011 「低炭素化のための環境技術」コース開講

アジア地域8ヶ国、延べ32名参加

2015 「持続的な都市開発のための都市経営」コース開講
北九州市の環境先進都市としての経験を世界に紹介
アジア、アフリカ、中南米、東欧地域49ヶ国、延べ127名参加



2016年 太陽光発電エネルギー技術コースの研修風景

2016 「再生可能エネルギー導入計画」コース開講

アジア、アフリカ、中南米地域47ヶ国、延べ92名参加



2021年 エネルギー高効率利用と省エネ推進コース

2020 新型コロナウイルス流行により海外からの入国が停止
10月よりネットを介した遠隔研修がスタート

2021.11 受入れ研修員が10,000名を突破

2,000

4,000

6,000

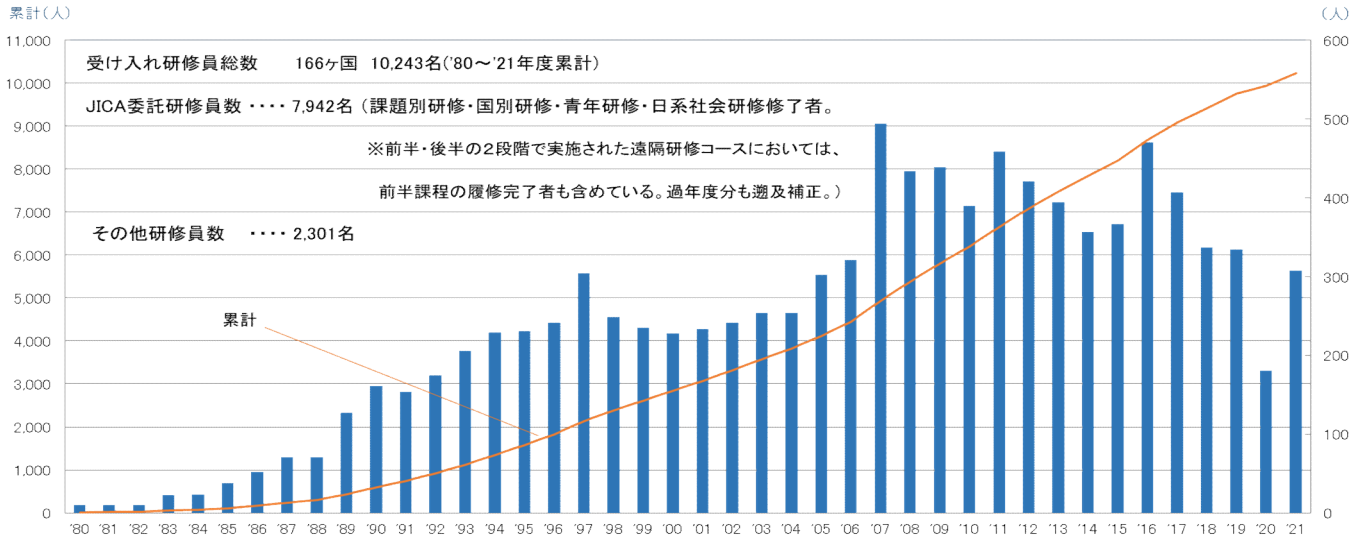
8,000

10,000

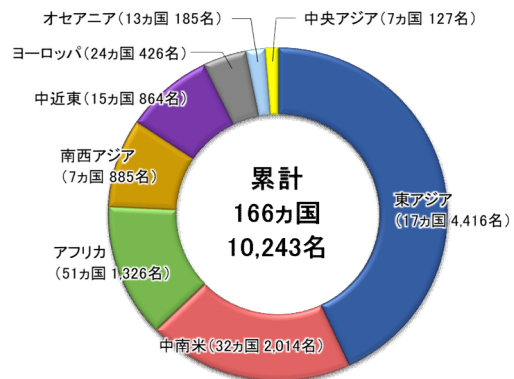
<40年間の研修員受入れ実績の統計データ>

2006年以降、研修コース数は毎年20以上で、研修員数も毎年300人以上で推移し、2021年11月には累計研修員数が10,000人を突破しました。2020年の研修員数が大幅に減っているのは、世界的なコロナ感染の影響です。研修員の主な地域は、アジア、アフリカ、中南米、東欧などで世界166ヶ国に及びます。

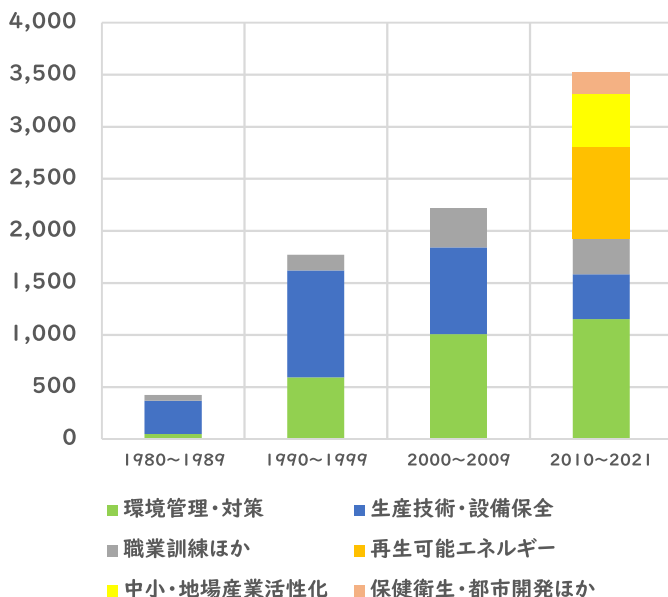
研修員受入れ実績（2022年3月31日現在）



世界地域別研修員受入れ実績 (2022年3月31日現在)

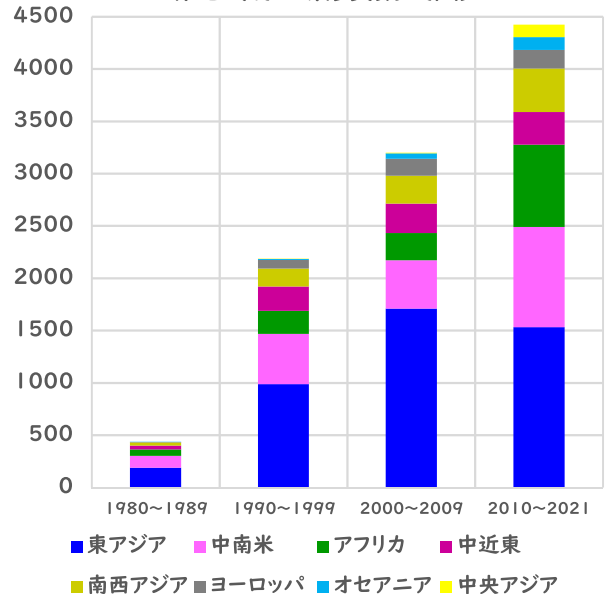


コースカテゴリー別の研修員参加人数 (JICA委託分のみを集計)



2010年以降、環境、再生可能エネルギーなどSDGsの趣旨に沿ったカテゴリーが増加

世界地域別の研修員数の推移



2010年以降、中南米、アフリカからの参加者が増加